

薬剤師・薬局の上手な活用法

Vol. 2 在宅療養に寄り添う薬剤師という身近な存在

「病院まで通うのが大変になった」「薬が飲みにくくなった」「飲み残しが出てきた」「薬の数が多くて心配」といった声を聞くことが増えています。加齢や体の不自由などにより通院が難しくなった方にとって、自宅で安心して療養生活を送るためには、医師や看護師、介護職など多職種

が連携する「在宅医療」が欠かせません。そんなとき、心強い存在となるのが薬剤師による在宅訪問です。薬剤師は多職種と連携しながら、ご自宅を訪問し、薬の管理や使い方の工夫をお手伝いします。体の変化に応じた剤形・服用方法の工夫、気になる副作用への対応、

不要な薬の整理など、専門的な視点からより安全・有効に薬による治療ができるよう対応しています。住み慣れたご自宅で薬剤師と会話し、気軽に相談できるのも安心です。

（ACP）にも薬剤師は関わります。ACPが実際に必要になってから関わる職種とは異なり、日頃から患者さんの生活や性格、ご家族との関係まで把握している「かかりつけ薬剤師」だからこそ、患者さんの思いをくみ取り、医療・介護のスタッフと共有することができま

す。ACPは、一度決めたら終わりではありません。病状や生活の変化に応じて、繰り返し話し合い、希望を更新していくことが大切です。薬剤師に、在宅療養のこと、ACPのこと、ぜひ一度ご相談ください。薬剤師は、地域で暮らす皆さまの「その人らしいそれぞれの生き方」を支えるパートナーです。



かかりつけ薬剤師・薬局とは？

公益社団法人 日本薬剤師会

こちらも
チェック

